

公表

事業所における自己評価結果

児童発達支援

| 事業所名 | | 児童発達支援・放課後等デイサービス Blooming Terrace みどり | | 公表日 | | 令和8年 3月 2日 | |
|----------|----|--|----|-----|--|---|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | 現状のスペースを必要に応じて仕切るなどして使用している。 | ガイドライン記載のスペースは確保できているが手狭な印象はあるので、より良い活用方法を検討する。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | ○ | | 靴箱、ロッカー、机などに名札をつけて“自分のスペース”を分かりやすくしている。文字の分からない子には色で分かるようにしている。 シンプルで分かりやすい空間を意識している。 全体のスケジュール、個別のスケジュールをそれぞれに提示している。 | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | 4Sを行い、清潔で心地よい環境を整えている。 活動がしやすいよう、活動部屋にはなるべく物は置かないようにしている。 | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | マットなどを活用して目隠しをし、必要に応じて個別のスペースを作っている。 着替えスペースにはカーテンを設置している。 | もう一部屋あれば様々に活用できるので望ましい。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | ミーティングを行い、皆参加し話し合うようにしている。 | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | | 集まった意見をもとに業務改善につなげていく。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 毎週月曜日にミーティングを行っている。 ミーティング時に意見交換をする場を設け、共有している。 | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | ○ | | 今後導入検討中。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | 自立支援協議会主催の外部の研修に参加している。 | | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | ○ | | 記録を細かく書くようにしている。 計画案について会議を実施、アセスメントと現状の支援にずれが生じていないかを確認。 | 今後も続けて行く。 | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | 常に子どもたちの様子を話し合い、情報を共有している。 計画案についての会議等で話し合いをしている。 | | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | 都度職員間で共有している。 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | | | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | 個々のニーズや状況に沿った目標を設定し、支援を行っている。 | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|--|--|
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | 職員間で話し合い、決めている。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | 複数のプログラムを週替わりや組み合わせを変えて活動している。 | 子どもたちの状況や成長に伴って活動内容を定期的に振り返る。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | 子どもの状況や変化、気づいたことなどを職員間で共有しながら計画書を作成し、支援を行っている。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | 利用児のいない時間帯に1日の流れを確認、ホワイトボードに記入している。後から出勤してきたスタッフが分かるように記載。 | より分かりやすくするために、記入の仕方や文言等の情報共有をあらかじめ行っておく。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | △ | | 支援終了後には退勤時間まで余裕がないので、翌日午前中に振り返りを行っている。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | 写真や文章で記録として残している。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | 半年を目途にモニタリングを行い、計画書の見直しを行っている。 | 必要に応じて半年以内でもモニタリングや計画書の見直しを行う。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | 管理者・児童発達支援管理責任者が参加している。 | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | | 密な連携を整えていきたい。 |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | ○ | | 併行利用している利用児については、園と情報共有を行っている。 | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | | △ | | 学校側から依頼がなくてもしっかりと情報共有や相互理解を深めていきたい。 |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | | ○ | | 今後機会があれば受けたい。 |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | | ○ | | 今後関係の輪を広げて交流を図ってきたい。 |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | | 連絡アプリ、送迎時に様子などを話し、共有している。 |
| | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | 実際に使用している絵カードを共有している。分かりやすいよう図などを使って家での過ごし方などの情報を提供している。 | 今後、研修会などの機会も作ってきたい。 |
| | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | 契約時に説明を行っている。 | |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | 面談の機会を設け、希望や思いを聞いている。 | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|--|---|---|
| 保護者への説明等 | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | ○ | | 送迎時などに直接説明をし、確認をもらっている。 | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | 定期的な面談や送迎時の話して、家族の悩みなどに応えている。 | 家族からの発信に応えるだけでなく、小さな変化などにも気づき寄り添えるようにしていきたい。 |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | 子どもたちが取り組んでいることを保護者にも実際に体験してもらう会を開催した。その後、保護者のみの茶話会を開催し、交流する機会を設けた。 | 今後も開催を計画していく。きょうだい同士の交流ができる機会も今後設けていく。 |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | 小さなことでも相談や話をしてもらえよう声をかけている。 | 家族からの発信に応えるだけでなく、小さな変化などにも気づき寄り添えるようにしていきたい。 |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | | ○ | | 今後発信できるよう準備をしていく。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | 絵カードを使って意思表示を促したり、確認をしたりしている。 保護者とよい関係性が築けるよう努めている。 | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | ○ | | 今後、計画・開催していきたい。 |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | △ | | マニュアルを策定し、定期的に職員研修を行っている。 | 今後、ご家族に対しても分かりやすく周知していく。 |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | 毎月1回（長期休み時には2回）行っている。 | 訓練実施曜日をランダムにし、全利用児・職員が訓練を行えるようにする。 避難器具の使用法や救護訓練も定期的に行いたい。 |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | 契約の際に状況を確認、記録している。 | |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | | |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | 都度記入、共有し、具体的な再発防止策を検討、実施している。 | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 事業所内で定期的に行っている。 外部の研修にも参加し、事業所内で共有している。 | |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | ○ | | あらかじめ説明をした上で計画書にも記載。 身体拘束を行った場合には保護者にも直接説明している。 | | |

公表

事業所における自己評価結果

放課後等デイサービス

| 事業所名 | | 児童発達支援・放課後等デイサービス Blooming Terrace みどり | | | | 公表日 | 令和7年 3月 2日 |
|----------|--------|--|-----|---------|--|--|------------|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | 現状のスペースを必要に応じて仕切るなどして使用している。 | ガイドライン記載のスペースは確保できているが手狭な印象はあるので、より良い活用法を検討する。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | ○ | | 靴箱、ロッカー、机などに名札をつけて“自分のスペース”を分かりやすくしている。文字の分からない子には色で分かるようにしている。 シンプルで分かりやすい空間を意識している。 全体のスケジュール、個別のスケジュールをそれぞれに提示している。 | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | 4Sを行い、清潔で心地よい環境を整えている。 活動がしやすいよう、活動部屋にはなるべく物は置かないようにしている。 | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | マットなどを活用して目隠しをし、必要に応じて個別のスペースを作っている。 着替えスペースにはカーテンを設置している。 | もう1部屋あれば様々に活用できるので望ましい。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | ミーティングを行い、皆参加し話し合うようにしている。 | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | | 集まった意見をもとに業務改善につなげている。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 毎週月曜日にミーティングを行っている。 ミーティング時に意見交換をする場を設け、共有している。 | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | ○ | | 今後導入検討中。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | 自立支援協議会主催の外部の研修等に参加している。 | | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | ○ | | 記録を細かく書くようにしている。 計画案について会議を実施、アセスメントと現状の支援にずれが生じていないかを確認。 | 今後も続けて行く。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | 常に子どもたちの様子を話し合い、情報を共有している。 計画案についての会議等で話し合いをしている。 | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | 都度職員間で共有している。 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | 個々のニーズや状況に沿った目標を設定し、支援を行っている。 | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|--|--|--|
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | 職員間で話し合い、決めている。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | 複数のプログラムを週替わりや組み合わせを変えて活動している。 | 子どもたちの状況や成長に伴って活動内容を定期的に振り返る。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | 子どもの状況や変化、気づいたことなどを職員間で共有しながら計画書を作成し、支援を行っている。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | 全員把握できるようホワイトボードへ1日の流れ等を書き出している。個別の情報に関しては、業務日誌に記入して閲覧するようにしている。 | より分かりやすくするために、記入の仕方や文言等の情報共有をあらかじめ行っておく。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | △ | | 支援終了後には時間がないため、翌日午前中に振り返りを行っている。 | 必要に応じて支援終了後すぐに振り返れる環境も作っておく。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | 写真や文章で記録として残している。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | 半年を目標にモニタリングを行い、計画書の見直しを行っている。 | 必要に応じて半年以内でもモニタリングや計画書の見直しを行う。 |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | ○ | | 日々の利用状況等をみながら組み合わせ支援を行っている。 | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | ○ | | おやつを選ぶ、読みたい本や遊びたいものを選ぶなど、日常の小さなことから選択の機会を少しずつ提供している。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | 管理者・児童発達支援管理責任者が参加している。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | | 密な連携を整えていきたい。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | | | 密な連携を整えていきたい。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | ○ | | 多機能型のため、園迎えの際に情報交換を行っている。必要に応じて保護者を通して行うこともある。 | 今後もしっかりと情報共有や相互理解を深めていきたい。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | ○ | | | 現在、学校を卒業して放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する利用児がいない。今後、子どもたちがその年代に達した際には関係機関と連携や情報提供を行いたい。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | ○ | | | 今後機会があれば設けたい。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | ○ | | | 今後関係の輪を広げて交流を図ってきたい。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | 放デイ・児発事業所連絡会に参加している。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | 連絡アプリ、送迎時に様子などを話し、共有している。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | 実際に使用している絵カードを共有している。分かりやすいよう図などを使って家での過ごし方などの情報を提供している。 | 今後、研修会などの機会も作ってきたい。 |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | 契約時に説明を行っている。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | 面談の機会を設け、希望や思いを聞いている。 | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|--|---|---|
| 保護者への説明等 | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | ○ | | 送迎時などに直接説明をし、確認をもらっている。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | 定期的な面談や送迎時の話して、家族の悩みなどに応えている。 | 家族からの発信に応えるだけでなく、小さな変化などにも気づき寄り添えるようにしていきたい。 |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | 子どもたちが取り組んでいることを保護者にも実際に体験してもらう会を開催した。その後、保護者のみの茶話会を開催し、交流する機会を設けた。 | 今後も開催を計画していく。きょうだい同士の交流ができる機会も今後設けていく。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | 小さなことでも相談や話をしてもらえるよう声をかけている。 | 家族からの発信に応えるだけでなく、小さな変化などにも気づき寄り添えるようにしていきたい。 |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | | ○ | | 今後発信できるよう準備をしていく。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | 絵カードを使って意思表示を促したり、確認をしたりしている。保護者とよい関係性が築けるよう努めている。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | ○ | | 今後、計画・開催していきたい。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | △ | | マニュアルを策定し、定期的に職員研修を行っている。 | 今後、ご家族に対しても分かりやすく周知していく。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | 毎月1回（長期休み時には2回）行っている。 | 訓練実施曜日をランダムにし、全利用児・職員が訓練を行えるようにする。避難器具の使用法や救護訓練も定期的に行いたい。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | 契約の際に状況を確認、記録している。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | 都度記入、共有し、具体的な再発防止策を検討、実施している。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 事業所内で定期的に行っている。外部の研修にも参加し、事業所内で共有している。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○ | | あらかじめ説明をした上で計画書にも記載。身体拘束を行った場合には保護者にも直接説明している。 | | |